

# 海洋物理モデルと海況4Dビッグデータを活用した水産業支援“IoT海況予測サービス”の創出

<b>提案者</b>	国立大学法人愛媛大学、愛媛県水産研究センター、愛媛県漁業協同組合連合会、㈱ウミトン
<b>対象分野</b>	農業
<b>実施地域</b>	愛媛県西宇和郡伊方町、八幡浜市、西予市、宇和島市、南宇和郡愛南町
<b>事業概要</b>	愛媛県は全国屈指の水産県(年間生産高800億円)であるが、その中心は県西部の宇和海で、魚貝養殖業と漁船漁業の生産高は640億円に達している。宇和海は養殖に適したリアス式海岸であるばかりでなく、急潮、底入り潮といった大きな水温変動を伴う太平洋からの独特の潮の流れが起こり、養殖に好適な環境を形成しているが、これらの潮の流れは養殖に負の側面も有している。そこで、①宇和海センサーネットワークシステムを構築し、②海洋物理学の研究実績に基づき、宇和海の沿岸環境情報の集積と海況(現況、予測)情報として、水産業者に可視化した情報を伝達することにより、宇和海の水産業の生産高増につなげる。

